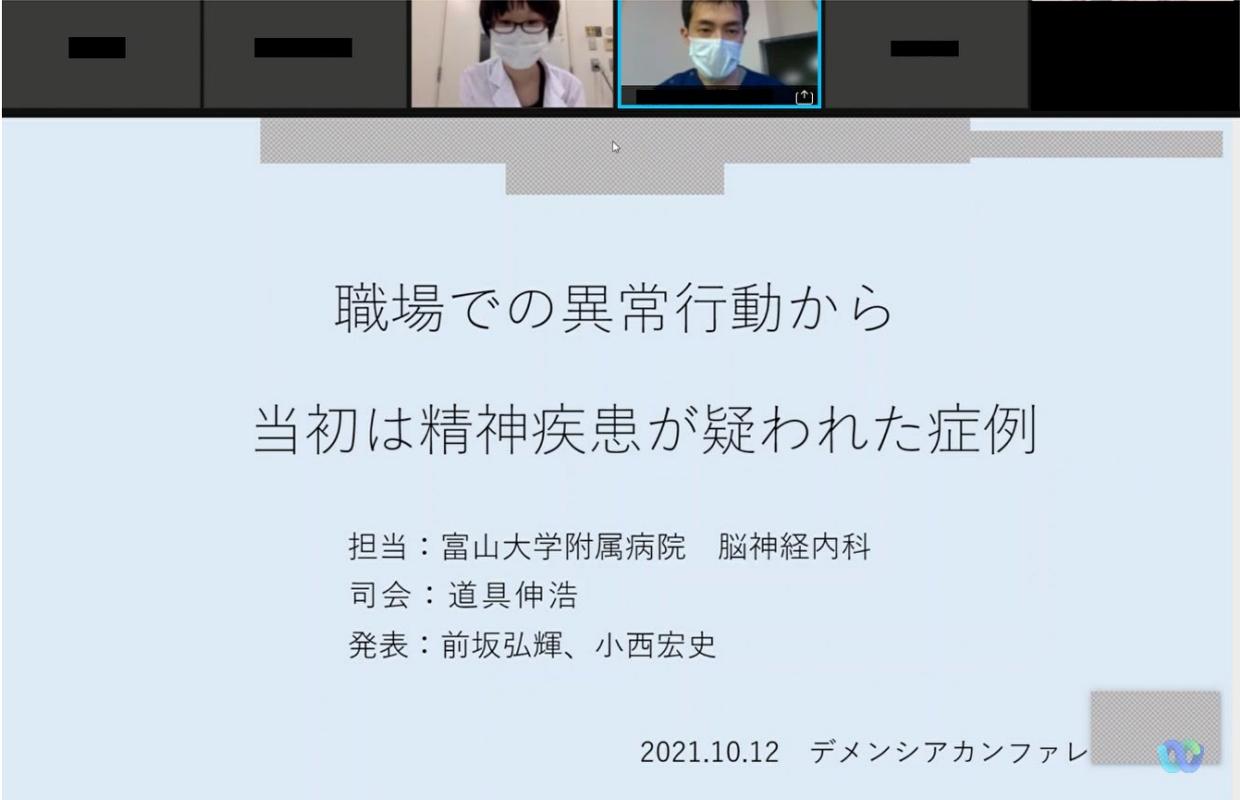


## 第77回デメンシアカンファレンスを開催

2021年10月12日

10月12日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第77回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「職場での異常行動から当初は精神疾患が疑われた症例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、意見交換が行われました。



職場での異常行動から  
当初は精神疾患が疑われた症例

担当：富山大学附属病院 脳神経内科  
司会：道具伸浩  
発表：前坂弘輝、小西宏史

2021.10.12 デメンシアカンファレ

# 第 77 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

## 『職場での異常行動から

## 当初は精神疾患が疑われた症例』

発表者：前坂 弘輝（富山大学附属病院 脳神経内科）

司 会：道具 伸浩（富山大学附属病院 脳神経内科）

### 【要 旨】

症例は 51 歳男性、事務職、5 年前頃から仕事でミスをするようになり、その頻度は年々増悪した。具体的には「説明したことができない」「1 時間でできるような仕事を 1 日かけてしている」「何度も顧客に間違った書類を郵送する」といったことや、「仕事がないのに休日に出勤する」「女子休憩室で休憩している」といった異常行動が見られた。精神疾患が疑われ、保健師から臨床心理士に紹介され、WAIS-III を実施され群間で差のある IQ の低下を認めた。発達障害が疑われ、近くの精神科を紹介され、大学病院への受診を勧められ、当院を受診した。

既往に約 10 年前に両側内転障害、複視で眼科通院歴があり、複視は自然経過で軽減していた。

当院での診察では HDS-R 23 点、MMSE 28 点と認知機能低下を示す所見に加えて、両側 MLF 症候群や右上下肢の腱反射亢進、両側肘関節以遠の異常感覚を認めた。MRI では側脳室周囲や脳幹、大脳皮質、頸椎に多発する異常信号を認め、多発性硬化症を疑い、除外診断を行って確定診断した。

多発性硬化症は中枢神経系の炎症性脱髄疾患であり、しばしば認知機能低下をきたす。主に注意障害や情報処理能力の低下をきたしやすく、MMSE は感度が高くないため、BRB-N 等のバッテリーを用いて評価する。一般内科や精神科で診ることは稀な疾患であるが、認知機能低下以外の神経学的所見がある場合には鑑別に入れるべき疾患であると考えられる。

### 【質問・意見】

質問：髄液所見はどうだったか。

回答：蛋白上昇や細胞数増多は認めず、明らかな活動性はなかったが、オリゴクローナルバンドが陽性であり、多発性硬化症に矛盾しない所見であった。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

## 第77回デメンシアカンファレンス(Web)

2021年10月12日(火)18:30～

# 『職場での異常行動から 当初は精神疾患が疑われた症例』

発表者：富山大学附属病院脳神経内科 前坂 弘輝

担当：富山大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の医療関係者  
(医療系大学の学生含む)

### 【参加方法】

#### 個人のパソコンからWeb会議システム（WebEX）を使用

- ・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。
- ・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。
- ・上記以外で参加を希望される方は10月11日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせ下さい。  
[ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

#### 【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 / E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp /

URL:http://ninpro.jp/